



新型コロナウイルスの感染症予防について

新型コロナウイルス感染症は、SARS-CoV2によって起こり、このウイルスによる感染症がCOVID-19と呼ばれます。2019年末中国武漢を発端に中国各地、日本、韓国、イタリア、イラン、欧州、米国、など世界各地に感染拡大し、WHOもパンデミックと認定しています。確立した有効な治療はなく、対症療法が中心となるため、本感染症では予防が最も重要です。

医療関係者の感染予防策においては、COVID-19の院内感染クラスタの発生増加から、医療関係者は感染者に曝露する機会が多いだけでなく、いったん感染すると自身が院内感染の原因となりうることを改めて認識する必要があります。

医療従事者は、常に標準予防策の遵守が大切です。つまり、呼吸器症状のある患者の診察時にはサージカルマスクを着用し、手指衛生を徹底するということです。また、サージカルマスクや手袋などを外す際には、それらにより環境を汚染しないよう留意しながら外し、所定の場所に破棄してください。さらに手指衛生を遵守し、手指衛生の前に目や顔を触らないように注意しましょう。

COVID-19が疑われる患者診療における感染予防策として、標準予防策に加えて飛沫感染と接触感染予防策を行います。安全な場所が確保できない状況では、エアロゾルが発生するような処置（たとえば、鼻咽頭ぬぐい液採取等の上気道検体採取など）は避けたほうが良いでしょう。行う場合でも、陰圧室または換気の良い個室でN95マスク、眼の防護具（ゴーグルまたはフェイスシールド）、長袖ガウン、手袋、キャップを装着して行うべきです。

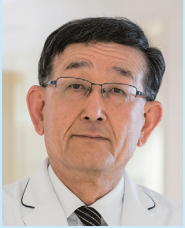
医療の質の向上に努めています

2月6日から8日にかけて、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の訪問審査を受けました。第三者機関によって当センターの医療を客観的に審査していただき、明らかになった課題に対して改善活動に取り組み、医療の質の向上を目指すものです。

審査はまだ継続中ですが、今回の受審を通じ、医療の質の向上はもとより、職員一人ひとりの意識を高めることや風通しの良い職場環境づくりが図られました。引き続き、職員一丸となって質改善活動を推し進め、患者さんの立場に立ち、更に質の高い医療の提供と安全で安心できる病院を目指して努力してまいります。



副総長就任のあいさつ



愛知県がんセンター副総長
柳野 正人

2020年4月より、副総長を拝命した柳野正人です。私は1979年に名古屋大学医学部を卒業、1991年に同第一外科学講座に助手として戻り、以後2020年3月に同腫瘍外科教授を退官するまでの30年間を一貫して胆道癌、特に肝門部胆管癌の外科治療に携わってきました。肝門部胆管癌の手術は消化器癌の中で最も難しく手術時間は平均10時間、15時間を超えることも珍しくありません。今から15-20年前には手術死亡率が10%もありましたが、手術手技の進歩や術前術後管理の改善などにより、私が教授在任中に行った654例の手術では1.5%まで低下しました。しかし、未だ術後合併症の頻度は高く、改善すべき点が大いにあります。私は典型的な肉体労働系の外科医で、難しいゲノムの話は分かりません。癌研究の進歩には目を見張るものがありますが、癌も手強いですからゲノム・個別化医療で治るにはまだ時間がかかるでしょう。愛知県がんセンターの外科が最後の砦として信頼されるよう頑張る所存ですのでご指導・ご支援をお願いいたします。

副院長就任のあいさつ



愛知県がんセンター副院長
林 美子

2020年4月より、副院長兼看護部長を拝命しました林美子です。「看護の基本を学ぶのなら愛知県がんセンターで」という周囲の勧めで入社し36年が経過しました。この間、7年間は岡崎のがんセンターで緩和ケアに携わり、4年前に再び名古屋に戻ってまいりました。直近の3年間は、医療安全管理室長を務め、看護部のみならずそれぞれの職種や部署がより質の高い医療やケアを提供するために日々努力している姿を知る貴重な時間を過ごすことができました。この度の責の重さに改めて身の引き締まる思いです。

さて、一昨年、看護部では、長年掲げてきた理念を見直しました。タグラインは「すべての人にその人らしさを」です。「患者さんの立場に立った医療」「チーム医療」の実現に向け、患者さんにとっていつも身近に存在する看護師、24時間継続して生活環境を整え、見守る看護の役割は大きく、それゆえに、組織における価値の定着は、看護職副院長の重要な役割であり責任でもあると考えます。

組織全体を見据え、微力ながら副院長業務に尽力してまいります。よろしくお願い致します。

婦人科部長就任のあいさつ



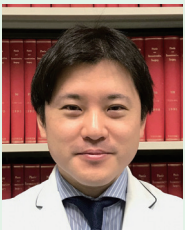
婦人科部長
鈴木 史朗

2020年3月1日付けで婦人科部長を拝命しました鈴木史朗と申します。前任施設である名古屋大学医学部附属病院では、婦人科腫瘍専門医として日常診療や多施設共同臨床研究に従事する傍ら、基礎研究面では「婦人科がんに対して根治につながる病態や治療概念・根拠の追求」を目標に掲げ研究に取り組んで参りました。

当婦人科が担うべき責務には、愛知県を中心とした医療圏における婦人科がん治療のハブ機能があると認識しております。進行がんに対しては、一流のスタッフの揃ったがんセンター内での連携を密に行い最適な治療方針の検討を行って参ります。早期がんに対しては、腹腔鏡下手術（ロボット支援下含む）等の低侵襲手術の適応を念頭に置いて治療にあたります。十分な説明を行い患者さん個々の病状に沿った、「がん専門病院ならではの」高質ながん医療の提供ができるように診療チーム一丸となって努めて参ります。

御指導・御支援の程よろしくお願い申し上げます。

形成外科部長就任のあいさつ



形成外科部長
高成 啓介

みなさま初めまして。4月1日より形成外科部長を拝命いたしました、高成啓介と申します。愛知県がんセンター形成外科では、頭頸部再建、乳房再建、リンパ浮腫治療など、様々な領域のがん患者さんの機能的・整容的な改善を目的とした治療を多く行っており、4月からは私を含むスタッフ4名とレジデント2名の合計6名で診療に当たらせていただいております。形成外科では上記以外にも顔面神経麻痺に対する静的および動的再建手術、キズやキズアトの治療、がん治療後の変形や機能障害などに対する治療も多く行なっております。患者さんの目線に立ってよく話を聞き、がん治療やがん自体で下がってしまう患者さんのQuality of Life (QOL, 生活の質)を少しでも上げてより良い社会生活がおくれるよう、お手伝いさせていただきます。若く、意欲のあるスタッフが多いですので何かお困りのことがあればなんでもご相談ください。どうぞよろしくお願い致します。

令和2年度 愛知県がんセンター公開講座

◇開催日及びテーマ

回	開催日時・場所	申込・定員	テーマ	講師
1	※ 令和2年5月9日(土) 【愛知県がんセンター 国際医学交流センター】 中止	14:00～ 16:00 (開場13:30) 350名	講演「女性のがんー治療の最前線ー」 ①卵巣がん治療Up-to-Date ②子宮がん治療Up-to-Date ③乳がん手術最前線 ④乳がん薬物療法最前線	司会：副院長兼乳腺科部 部長 岩田 広治 婦人科部 医長 森 正彦 婦人科部 部長 鈴木 史朗 乳腺科部 医長 小谷はるる 乳腺科部 医長 服部 正也
2	令和2年7月4日(土) 【愛知県芸術 文化センター】 12階 アートスペースA	14:00～ 16:00 (開場13:30) 180名	講演「血液がん治療のツートップ： 遺伝子と免疫に基づく治療 ー新しい分子標的治療と 細胞治療ー」 ①血液がんとは ②遺伝子の異常に基づいた血液がん治療 ③造血幹細胞移植：古くて新しい細胞治療 ④新しい細胞療法：CAR-T治療	司会：血液・細胞療法部 部長 山本 一仁 血液・細胞療法部 部長 山本 一仁 血液・細胞療法部 医長 柳田 正光 血液・細胞療法部 医長 田地 浩史 腫瘍免疫応答研究分野 分野長 籠谷 勇紀
	令和2年8月上旬 【愛知県がんセンター 研究所】	9:00～ 17:00 事前申込要 16名	高校生向け 基礎実験体験講座 「調整中」 ※詳細については、研究所Webページにて随時公開していきますので御確認ください。 https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/ri/index.html	
3	がん征圧月間 【がん征圧講演会】 令和2年9月5日(土) 【愛知県がんセンター 国際医学交流センター】	14:00～ 16:00 (開場13:30) 350名	講演「がん診断最前線」 ①がんのわかりやすさを診断する時代の到来 ②血液検査でがんを見つける： がん早期診断研究の最前線 ③診断困難例に対する低侵襲内視鏡的診断法 ④愛知県がんセンターの連携体制と最新の肺 がん診断	司会：分子診断トランスレーショナル リサーチ分野 分野長 田口 歩 がん予防研究分野 分野長 松尾恵太郎 分子診断トランスレーショナル リサーチ分野 分野長 田口 歩 消化器内科部 部長 原 和生 副院長兼呼吸器内科部 部長 樋田 豊明
4	令和2年11月28日(土) 【愛知県がんセンター 国際医学交流センター】	14:00～ 16:00 (開場13:30) 350名	講演「頭頸部がん治療、最新の進歩」 ①経口的機能温存手術 ーロボット手術で残す食事・会話の機能ー ②頭頸部がん放射線治療の進歩 ーAIが支える最先端の高精度放射線治療ー ③頭頸部がんに対する薬物療法の最前線 ー免疫療法を中心にー	司会：頭頸部外科部 部長 花井 信広 頭頸部外科部 医長 西川 大輔 放射線治療部 医長 小出雄太郎 薬物療法部 医長 門脇 重憲
5	令和3年2月6日(土) 【会場調整中】	14:00～ 16:00 (開場13:30) 定員調整中	講演「大腸がん診療の進歩」 ①大腸がんの撲滅に向けて内視鏡ができること ②大腸がんの手術療法について ③がんの遺伝診療からせまる 大腸がんの予防・早期診断・治療	司会：病院長 丹羽 康正 内視鏡部 部長 田近 正洋 集中治療部 部長 小森 康司 リスク評価センター センター長 井本 逸勢

※5月9日(土)第1回開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止します。

◇受講料及び受講対象 無 料・どなたでも受講できます。

◇参加方法 申込不要 ※事前の連絡および申込等は必要ありません。当日は直接会場までお越しください
※「高校生向け 基礎実験体験講座」の申込は事前申込が必要です。

◇その他

- 当日は駐車場が混雑しますので、公共交通機関をご利用ください。
- この内容は、愛知県がんセンターホームページでもご覧になれます。
- 申し込みいただいた方の個人情報は、当該目的以外に使用しません。
- 新型コロナウイルス感染症対策や天候不良等で予告なく中止、講演内容等の変更をすることがあります。ご来場前に愛知県がんセンターWebページで御確認下さい。

【問い合わせ先】

愛知県がんセンター運用部経営戦略課 公開講座係

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

*TEL (代表) 052-762-6111 (内線2511) *FAX 052-764-2963

*公開講座ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/cc/03kouza/index.html>

患者さん、登録医、がんセンターをつなぐホットな1頁

とうろく医探訪 No.15

Produced by
地域医療連携・相談支援センター

中島医院 院長：中島 孝太郎 先生



がんセンターの先生方、スタッフの皆様、日頃より病診連携を通じ
お世話になりありがとうございます。

中島医院は地下鉄自由ヶ丘駅から徒歩5分、自由ヶ丘三丁目交差点
に近く、がんセンターからは500m、歩いて6分程の距離です。1
958年に祖父が開設して以来、60年余りこの地で地域医療に貢献
できるよう努めて参りました。2016年に私が3代目の院長となり、
皮膚科担当の父と共に診療を行っています。

私は2007年に富山大学を卒業後、名古屋第二赤十字病院、名古
屋大学医学部附属病院の糖尿病・内分泌内科にて勤務してきました。
糖尿病・高血圧症・脂質異常症などの生活習慣病や、甲状腺をはじめ
とした内分泌疾患の診療を専門としています。糖尿病の方は健康な方と比べて膵臓がん・肝臓がん・大腸がんを
はじめ全がんリスクが1.2倍ほど高く、がん検診や血液検査でがんを疑う異常を認めることがあります。また頸
部エコー検査で甲状腺やリンパ節にがんを疑う異常を認めることもあります。そうした患者さんには、高度で先
進的ながん医療を行っており距離的にも近いがんセンターへの受診をお勧めすることも多く、また、膵臓がん術
後の糖尿病におけるインスリン治療など、糖尿病専門医での治療が望ましい患者さんをご紹介
いただくこともあります。

今後ともがんセンターと密に連携しながら、地域医療に尽力していきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。



	診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前	9:00-12:00	○	○	▲	○	○	○	/
午後	16:30-18:30	■	○	/	○	■	/	/
【休診】水曜午後、土曜午後、日曜、祝日								
▲：第2・4水曜日は全日休診、第1・3水曜日は午前診療です								
■：月・金曜日の夕診は内科のみの診療です								

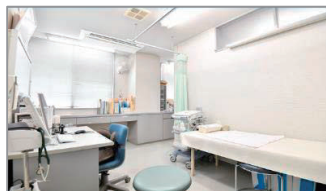
【医療機関情報】

中島医院

診療科目／内科、糖尿病内科、皮膚科、小児科

電話／052-723-5115

所在地／〒464-0041 名古屋市千種区霞ヶ丘2-9-17



編集後記：第15回は千種区「中島医院」です。糖尿病・甲状腺疾患を中心に、幅広い年齢層の患者さん
に対応する地域密着型の診療所です。院内は白やライトグレーを基調とし、明るく清潔感がありますが、
どこか懐かしい感じと院長先生の落ち着いた雰囲気、安心感を与えてくれます。<Y.SANO>

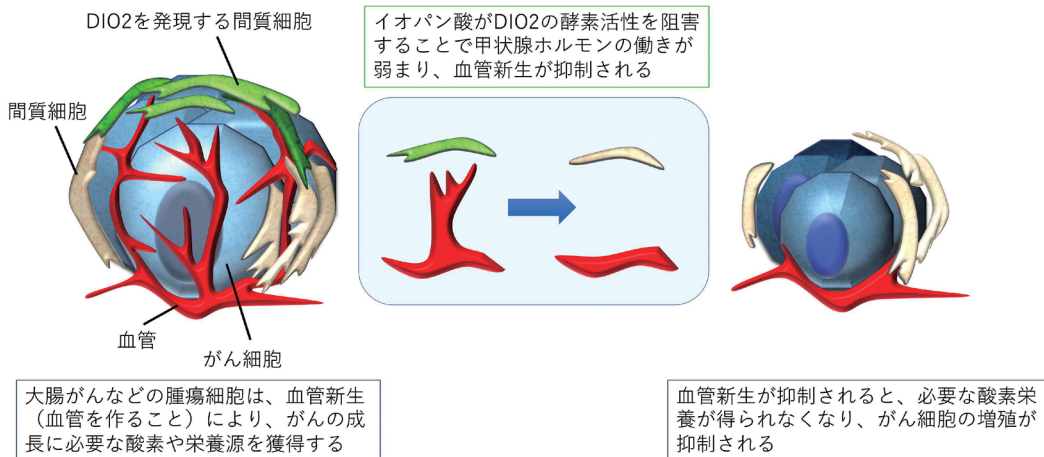
甲状腺ホルモンが大腸がんの成長を促す機序

研究所 がん病態生理学分野



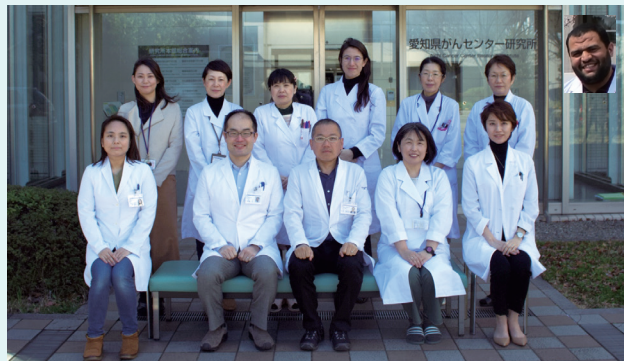
がん病態生理学分野長
青木 正博

がん細胞は必ず賢く、周辺の様々な正常細胞（間質細胞といいます）を巧みに利用し、がん細胞の増殖や浸潤に適した環境（腫瘍微小環境といいます）を作り出します。腫瘍微小環境でがん細胞を助けている間質細胞を叩くことができれば、新しいがん治療法につながる可能性があります。当分野では、大腸がんの発生や悪性化に腫瘍微小環境が果たす役割について、大腸がんを自然発症するマウスを用いて研究しています。最近、マウス大腸の腫瘍微小環境では、間質細胞が、甲状腺ホルモンの活性化に必要なDIO2という酵素を多く産生していることを見つけました（図）。ヒト大腸がんでも、間質細胞がDIO2を産生することを確認しています。このマウスにDIO2の働きを阻害するイオパン酸という薬を投与したところ、腫瘍の成長が抑えられました。腫瘍の成長には血管を作る必要があります（血管新生といいます）、イオパン酸を投与したマウスの腫瘍では血管新生が弱くなっていました（図）。欧米の疫学調査では、甲状腺の病気と大腸がんとの間に関係があることが示唆されていましたが、本研究の成果はその機序の解明に役立つと考えられます。また、DIO2を阻害することで、大腸がんの成長を抑制できる可能性があります。



研究所 がん予防研究分野 スタッフの紹介

がん予防研究分野は、疫学的手法を使ってがんの原因を見つけ、その原因を取り除くことでがんを予防することを目標にしています。特に、愛知県がんセンターを受診した方から集めた生活習慣や血液試料を元にして、がんの予防につながる生活習慣や遺伝子を明らかにする研究に力を入れています。各々の人が自分に最も適した予防法を選択し、がんにかかる人を減らすことができるよう、スタッフ一同頑張っています。



写真：後列左から、森川秘書、川口秘書、平野技師、クロップ研修生、上林技師、佐藤技師、(右上)エルシェアー連携大学院生
前列左から、川勝リサーチレジデント、尾瀬主任研究員、松尾分野長、春日井技師、岩瀬リサーチレジデント

食道癌に対する最先端の低侵襲手術

病院 消化器外科部

食道癌手術は頸部、胸部、腹部にわたる手術操作を必要とする消化器がんの中でも高侵襲な手術ですが、当院では2012年より食道癌手術に対し、胸腔鏡や腹腔鏡を用いた低侵襲な内視鏡手術を行ってきました。内視鏡手術は患者さんの体を開けたいくつかの小さな穴からカメラや鉗子（かんし）と呼ばれる手術器具を体腔内に挿入し、モニターに映し出された映像を見ながら行う手術です。傷が小さく術後の痛みが少ないために、術後のリハビリが早く進み早期社会復帰が可能となることが大きな利点です。しかしながら従来の内視鏡手術は二次元画像または解像度の低い三次元画像を見ながらまっすぐの長い鉗子を用いて行うことや手振れするなどの弱点がありました。そういった弱点を克服するのが最先端医療機器である内視鏡手術支援ロボットです。食道癌に対するロボット支援下内視鏡手術は2018年4月より保険収載され、当院でも2019年よりda Vinci Xi Surgical System (DVSS) を使用し保険診療で行っています。DVSSは解像度の高い自然な三次元画像、人の手関節よりも自由度の高い鉗子の関節機能、手振れ防止機能など、従来の内視鏡手術の限界点を克服する優れた機能を有しており、これらの機能を活用することでより精緻な手術操作が可能となります。

特に食道癌手術ではロボット支援内視鏡手術を用いると反回神経麻痺という術後の発声や嚥下機能にかかわる重要な神経の麻痺を減らす効果がある可能性が報告されています。

消化器外科部医長 安部 哲也



コンソールでの操作



ダビンチ食道切除の術中風景

臨床試験部 スタッフの紹介

愛知県がんセンターの使命の一つは、がんに対する新しい治療開発です。臨床試験部は、患者さんが臨床試験に安心して参加できるよう臨床試験コーディネーターを中心に総勢34名で支援しております。その他、臨床試験に必要な各種手続き、および倫理審査委員会を運営しています。特に、新しいお薬の有効性を検証し、承認を目指した「治験」の実施に積極的に行っています。今後も、新しい治療を受ける機会が増えるよう取り組んで参ります。



部長 安藤正志



【臨床試験部】

輸血の効率化と危機的大量出血への対応

病院 輸血部

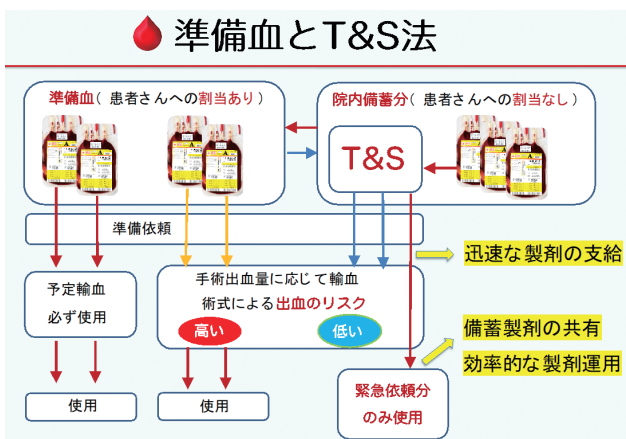
輸血部は、病院各部門と協力し、良質で安全な「がん医療」を提供するため、輸血関連検査と特定生物由来製品である血液製剤の一元管理を主に行います。

今回は、献血由来の貴重な血液製剤を効率的に運用する方法と、万一の危機的大量出血への対応についてご説明します。

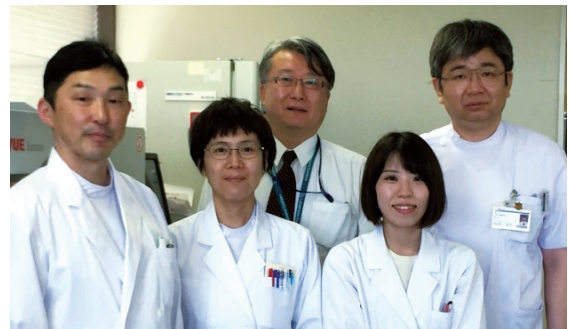
- 厚労省の輸血に関する指針に基づき、輸血の適応を厳密に検討し適正使用に努めます。使用状況は院内輸血療法委員会にて検証を行います。
- 手術に際して出血のリスクの低い患者さんに対しては、タイプアンドスクリーニング（T&S）法を用い、ABO・Rh血液型と不規則抗体の有無を予め検査し、緊急に輸血が必要になった場合は迅速に準備します。備蓄製剤を共有すると共に、期限切れ廃棄を減らすことができます。
- 不測の危機的大量出血には、日本麻酔学会と日本輸血・細胞治療学会の「危機的大量出血への対応ガイドライン」に準拠した、院内「緊急初動対応マニュアル」に従って、担当診療科・麻酔科部・手術部・看護部等と連携して迅速・適切に対応します。
- 緊急事態に備えて、血液センターと連絡を密に血液製剤の緊急搬送やO型赤血球液の使用を含めて、即応体制の整備に努めます。

今後も「適正かつ安全な輸血療法」のため、ご理解・ご協力をお願いします。

輸血部（兼血液・細胞療法部） 医長 田地 浩史



【準備血とT&S法について】



【輸血部スタッフ】

左より、早川英樹技師、太田裕子技師、山本一仁部長、榎本美里技師、田地浩史医長

栄養管理部 スタッフの紹介

「入院中は食事が何よりの楽しみ」と考える患者さんが多い中で、院内の給食を担っているのが栄養管理部です。治療のために、一口でも多く口に運んでいただける食事作りを管理栄養士・調理師が丸となって取り組んでいます。また、治療での食事の悩み・不安の軽減のために栄養相談を行っています。管理栄養士による個別相談で、1回30分程度相談することが出来ます。入院、外来にかかわらず、ぜひご利用ください。



写真：前列左から、下里管理栄養士、田近栄養管理部長、野原管理栄養士
後列左から、鈴木調理師、谷口武司調理師、村松調理師、
神山調理師、滝澤調理師、永田栄養士、齊藤栄養士

新任医師 の紹介



消化器内科部
孝田 博輝



内視鏡部
山田 啓策



呼吸器外科部
高橋 祐介



乳腺科部
片岡 愛弓



消化器外科部
大内 晶



消化器外科部
川勝 章司



泌尿器科部
関戸 翔



医療安全管理部
伊東 直哉



医療安全管理部
塚本名里子

医療連携室のご案内

対応時間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 (祝日、年末年始を除く)
電話	052-764-9892 (直通)
FAX	052-764-9897 (24時間稼働しております。)
ホームページ	https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/hosp/ 病院トップページ右手にある「医療連携」のバナーをクリックしてください。 利用の手引や様式など、詳細を掲載しております。

外来診療案内

受付時間	午前8時30分～午前11時30分 (自動再来受付機による受付は午前8時からできます。)
休診日	土・日・祝日、年末年始
診療科	消化器内科、呼吸器内科、循環器科、血液・細胞療法科、薬物療法科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科 (サルコーマ外来)、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、眼科、放射線診断・IVR科、放射線治療科、精神腫瘍科、緩和ケア科 (リンパ浮腫外来・ペインクリニック)、リスク評価センター
外来診療担当一覧	毎月1回、月初めに更新しています。詳しくはホームページをご覧ください。
休診情報	お電話またはホームページでご確認ください。

※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時 (土・日・祝・年末年始を除く)
 ※セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)
 ※精神腫瘍科、リスク評価センターは、予約のみの対応です。

交通のご案内

★公共交通機関のご案内

地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でアクセスのご案内

- ◎一般道路
 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
- ◎高速道路
 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
 名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分

※詳しくはホームページをご参照ください。



愛知県がんセンター 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号 編集：運用部 経営戦略課 企画・経営グループ

ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

「がんセンターNEWS」に関するご意見・ご感想は [☑\(kohonews@aichi-cc.jp\)](mailto:kohonews@aichi-cc.jp) または FAX(052)764-2963 にてお寄せ下さい。

なお、個別の返答は致しかねますのであらかじめご了承ください。

愛知県がんセンター



がんセンターNEWSは古紙配合再生紙を使用しています。